



就労支援センター「かつらぎ」で製作した門松

シリーズ こころの散歩道 vol.17

令和3年、丑年によせて

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

お正月のテレビのニュースで、大洗水族館のアシカのゴエモンが、干支の「丑」の字を口にくわえた筆で器用に書いていました。今年は丑年です。

干支の動物は人間と様々な関りがありますが、牛はその中でも古くから私達との関係が特に深い動物です。古代から牛は人と共にあり、食用としてだけでなく、機械化が進むまで牛は田畑を耕し、物資を運ぶ動力源として重要でした。そのため人々は牛をととても大切にしていました。牛が貴重な動物であったからこそ、古代では神様に捧げる「いけにえ」として牛が供されていたといえます。「犠牲」が牛偏の漢字でできているのはそこからきているようです。

さらに牛は、神やその使いとして考えられることもありましたが（濱田陽、「日本十二支考」）。京都の夏を彩る祇園祭は、千百年の伝統を有する八坂神社のお祭りです。平安時代前期（9世紀頃）に京都をはじめ日本各地で疫病がはやり、これを鎮めるために、お釈迦様のいたインドのお寺（祇園精舎）を守る神様をお祀りしたのが始まりだそうです。その神様は頭に牛の頭を乗せていて、牛頭天王（こずてんのう）といえます。

また、学問の神様として知られる菅原道真は、平安時代中期の丑の年丑の日に生まれたことから、とても牛をかわいがったといえます。右大臣にまで上り詰めますが、陰謀により失脚して京都から博多の大宰府へ左遷されました。その2年後に道真は亡くなりますが、遺体を牛車に乗せて運ばせ、牛が止まったところで埋葬するようと言い、そのようになったと伝えられています。その後京都では落雷や飢饉、疫病などが続き道真のたたりと恐れられ、その霊を鎮めるために大宰府や北野に天満宮が建立されました。牛は道真（神）の使いで、境内に安置してある牛の像を撫でると病が治ると言われるようになりました。

今年は丑年。ゆっくりでも着実に、辛抱強く歩んでゆきましょう。

茨城県立こころの医療センター病院長 堀 孝文

治療難治性の統合失調症について 2



日向勝之先生

統合失調症とは何か。この質問に対する単純かつ明確な答えは、いまだ議論のあるところ。様々な原因に端を発し、その症状や治療反応、疾患の経過は多様で、知覚、情動、認知、思考、行動の変化などが認められています。疾患に対する社会的な理解が進んでいないこともあり、患者やその家族は保護を十分に受けることができず、社会的な疎外に苦しむことが多いこともまた事実です。前回の続きで今回が最終回となります。治療抵抗性の統合失調症の治療薬であるクロザピン（クロザリル）に関して解説させていただきます。

Q1 クロザピンの効果は？

A 陽性症状や陰性症状が改善する可能性があります。日本で行われた臨床試験で精神症状が改善した率が報告されており、第Ⅱ相試験で約57%の方が改善し、第Ⅲ相試験では約67%の方が改善しています。なおここでいう改善とは、BPRS(Brief Psychiatric Rating Scale)という評価尺度で症状を点数化し、治療前と比べてその点数が20%以上減ったこととしています。またクロザピンは錐体外路症状という副作用が少ないと言われていますが、それ以外の副作用が全くないわけではなく、眠け、嘔気や嘔吐、便秘等は認められます。またよだれが多く出る方もいます。

Q2 治療成績が良いならすぐに使ってみたいけど・・・

A 前回お話しさせて頂きましたが、クロザピンは重篤な副作用が発現するおそれが、他の抗精神病薬と比べて高いです。そのため統合失調症と診断された患者さん全てにすぐに使用することはできず、治療抵抗性と判断された場合に適応となります。また重篤な副作用に対応するため、どの医師やどの医療機関でも処方できるわけではありません。クロザピンを導入する場合は、必ず入院中に開始となり、導入後も1週間ないし2週間に1回の定期的な血液検査が必要となります。

最後に・・・

クロザピンは治療抵抗性の統合失調症患者さんに対して高い有用性を示す最終選択薬（「最後の切り札」）として世界中で承認が進み使用されている薬です。

今まできちんと薬を飲んでいても、幻聴や妄想の症状がひどく入院が長期間に渡っていたり、また副作用の影響で十分に薬を使用できず、自宅に閉じこもりがちで社会との関係が希薄になっていた等々の患者さんは、一度クロザピンを検討してみてもいいかもしれません。まずは主治医の先生と相談してみてください。

クロザピンは変化が期待でき、患者さんや患者さんの家族にとって、今後の可能性を広げてくれるかもしれません。

部門紹介

第2回 薬剤科

Q1.どのような業務内容ですか

薬剤師5名が在籍しており、主な日常業務として、処方せんに基づき内服薬や注射剤の調剤・監査を行っています。また、患者さんが新たに入院された際には、他院で処方された薬も含め飲み合わせを確認するなど、幅広く対応しています。

Q2.当センターならではの特徴は？

精神科においては服薬による治療継続が重要であることから、チーム医療の一員として、服薬SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)や家族教室等に参加しています。服薬の必要性を通じて病気への理解を深めていただくと共に、不安や疑問点については患者さんやご家族と一緒に解消に向け取り組んでいきたいと考えています。

Q3.特に力を入れて取り組んでいることは？

治療費の負担軽減のために、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用を積極的に進めています。薬の名前や見た目が変わることもあるため、戸惑われる方もいらっしゃるかと思います。有効性や安全性は先発医薬品と同等ですので、安心して服用してください。

当院は県内精神科医療の基幹病院です。お薬について心配なことや疑問があれば、お気軽にご相談ください。



令和2年度こころの医療センター図上型防災訓練

令和2年12月28(月)、茨城県北部を震源とする大地震が発生したとの想定により、関係者が参加し、初めての災害対策本部設置の図上型防災訓練を実施しました。今回は、地震発生後1時間以内に求められる状況判断や初動対応を、災害対策本部の各班に付与し、実践してもらうロールプレイング方式の訓練としました。

災害対策本部となる集会ホールには、各班から被害情報や対応状況が速報され、緊急に招集した災害対策本部会議では、こうした情報を共有したうえで、本部長である院長から今後の対応について具体的な指示が出され、全員が緊張感をもって傾聴するなど、本番さながらの様子でした。



今月のダイケア



～ひっそり開催！『こっそり文化祭』～

秋になると多くの作品が院内を彩り、販売日には賑わいを見せていた当センターの名物行事である文化祭。新型コロナウイルスの影響により中止となってしまう、寂しい思いをされた方も多いと思います。

そんな最中・・・ダイケアでは芸術への愛が溢れるメンバーによって、小さな文化祭が開催されていました！プログラムで作成した絵手紙や、話題のアニメ関連の作品、そのほかにも情熱が込められた作品がショーケースに飾られました。来年はもっと多くの方にお披露目できることを祈りつつ、メンバー・スタッフともに腕に磨きをかけていきたいと思います！



ダイケア棟の廊下に12月25日まで展示されていた作品たち
※ダイケア棟への出入りは利用者の方以外控えていただいております。



宮田看護師 ベンチプレス 優勝

11月に福岡県中間市で全日本ベンチプレス大会が開催され、当院から宮田看護師が出場し83kg 級マスターズ部門で210kg を持ち上げ優勝、来年10月カザフスタンで開催予定の世界大会の切符を手にしました。

今大会はコロナ禍の中での開催のため感染対策を徹底したうえで無観客試合はもちろん、競技後は表彰式もなく速やかに退場し帰宅する事が義務付けられていたとのこと。

大会を振り返り「今回のライバルとなった対戦相手はパワーリフティングでの現日本記録保持者でありパワー対決はもちろんだが、お互い与えられた3回の試技の申請重量を何kgにするか等の頭脳戦にもなり接戦を制した上での勝利であったため大変嬉しく感じました。今後はコロナ問題が解決したら自己記録の更新と世界大会の表彰台目指して頑張りたい」とのコメント。



左から2番目が宮田看護師



クロザピン導入のご相談 受けております

当センターでは2011年からクロザピン(クロザリル)による治療を開始しております。 **よろしくお願いします**
また2019年より、県内の他病院から難治性統合失調症患者へのクロザピン導入依頼をお引き受けしております。興味のある方は、まずはご自身の病院で主治医の先生に相談をしてみてください。



<編集後記>

新年おめでとうございます。

コロナ禍の中、年末年始は外出を自粛して、初詣も近くの神社にお参りをした方も多かったんじゃないでしょうか。

さてご存知のようにこの「禍」は災難や危機的状況などを表す言葉で、「わざわい」とも読みます。早く「転禍為福」禍転じて福と為すとなってもらいたいものです。

みなさん共に顔晴りましょう。

今年もよろしくお願いいたします。

てっちゃん

茨城県立こころの医療センター広報紙 第59号
発行：こころの医療センター広報委員会
発行者：堀 孝文
発行日：令和3年1月29日
〒309-1717 笠間市旭町654
TEL：0296-77-1151
FAX：0296-77-1739